

8月の大雨に係る被害状況等について

9月9日（月）に開催された「佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）情報共有会議」内容を踏まえ、本日12：00時点で把握した現地状況ならびに関係団体の対応についてご報告します。

○現地の状況

情報共有会議の開催を受け、JVOADでは、現地のコーディネーター役として、情報共有会議を運営している「佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）」のサポートを行っています。

- ・大町町では、在宅避難の方が避難所に物資を取りに来やすいように環境改善を実施
- ・在宅避難の状況確認が必要だが、ヒアリングなど重ならないように情報共有して進めたい
- ・土砂崩れのあった地域では、流木の撤去等を進めている
- ・今後、カビ対策が重要になってくるので、支援団体も対応について理解し、住民への周知などに協力
石灰よりもオスバンの方がいい、肌に触れるところはエタノールがいい等全体で情報共有
- ・先週末も熱中症の人が出たので、くれぐれも注意
- ・カーシェアリング協会は、11月まで無料で車を貸し出し（40台）

○災害ボランティアセンター

佐賀県では、5か所の市町で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティア活動を継続開設状況については、全国社会福祉協議会 被災地支援・ボランティア情報を確認ください。

URL：<https://www.saigaivc.com/>

○その他

- ・佐賀県内の避難者は下記の通り（9月10日7：00現在）
武雄市 68名、避難所5か所
大町町 68名、避難所2か所（合計136名）
- ・赤い羽根共同募金による「災害ボラサポ・8月九州豪雨」の募集が開始（10月9日締め切り）
- ・佐賀県内の団体向け「佐賀災害基金」の実施
- ・次回の開催は、9月12日（木）19：00～
場所：佐賀商工ビル内会議室（会議室については、当日現地にて要確認）

○今後について

引き続き、県、社会福祉協議会、SPFと連携して、「佐賀災害支援プラットフォーム緊急対策会議」をサポートしながら、フェーズにあわせた相談対応などを行っていきます。